

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 ホストタウン登録の推進について

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会におけるホストタウン登録に係る状況は以下のとおり。
県としても、積極的に支援・協力を行っていくので、前向きに検討いただきたい。

1 趣旨

2020 年大会の開催に向け、スポーツ王国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として全国に広げる。

2 ホストタウンとは

次に掲げる取組を行う地方公共団体は、ホストタウンとして登録できる。

(1) 住民等と次に掲げる者との交流

- ・ 大会等に参加するために来日する選手等
- ・ 大会参加国、地域の関係者
- ・ 日本人オリンピック、パラリンピアン

(2) (1)に伴い行われる取組であって、スポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現を図ろうとするもの。

3 これまでの動き

第 1 次登録状況[平成 28 年 1 月登録]

本県登録団体なし

※ 全国では44件が登録、うち東北 5 県では 7 件が登録。(下表参照)

県名	登録団体	相手国・地域	備 考
青森県	今別町	モンゴル	フェンシングが盛んな土地柄。 モンゴ ルチーム事前合宿受入れ決定
宮城県	仙台市	イタリア	2002FIFA ワールド杯サッカー大会時のイタリア代表 合宿受け入れの縁
	蔵王町	パラオ	戦後パラオから多数の入植者受入の縁
秋田県	秋田県 美郷町	タイ	地元実業団チームと親交のあるタイの バドミントンチームとの交流の縁
山形県	上山市	ポーランド	2015 世界陸上の際、ポーランドチー ム の事前合宿が行われた縁
福島県	郡山市	オランダ	姉妹都市であるブルメン市との縁
	猪苗代町	ガーナ	偉人「野口英世」ゆかりの地としての縁

裏面へ続く→



4 今後の登録スケジュール

- **第2次登録**（平成28年3月7日付政推第387号により各市町村へ通知済み。）
申請期限：平成28年5月13日（金） 必着（県へ提出）
登録時期：平成28年6月上旬頃
※ 現在、1市が登録へ向けて調整中。
- **第3次登録**（情報が得られ次第、県から各市町村へ通知する。）
申請期限：平成28年10月末
登録時期：平成28年11月頃

5 ホストタウンへの地方財政措置案の概要

- (1) 特別交付税措置
 - ・ 交流事業等に係る経費
 - ・ 対象経費の一般財源合計額の2分の1
 - ・ 既存の特別交付税措置の対象となる経費もあり。
（民間施設、交通施設のバリアフリー化）
- (2) 地域活性化事業債
 - ・ これまで対象外だった競技施設の改修経費を一部対象に。
 - ・ いわゆる I F 基準（国際競技連盟が定める基準）を満たすために必要な既存の競技施設等の改修経費
 - ・ 起債充当率90%、元利償還金に対する普通交付税措置30%

5 参考資料（内閣官房オリパラ事務局作成資料より抜粋）

事業イメージ① オリンピックとの交流を通じ、スポーツの素晴らしさを伝える	事業イメージ③ パラリンピアンとの交流を通じ、共生を学ぶ
<ul style="list-style-type: none">・ オリパラの意義を学ぶ・ オリンピアンを経験を聞く・ オリンピアンと競技を楽しむ（校庭、体育館、プール）・ 2020年オリパラ終了後日本代表選手を招き、触れ合う・ 事前合宿に来た外国人選手と競技を楽しむ  <p>必要な経費を支援（例）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日本人選手の招へい・ 競技体験イベントや講演会の開催・ 競技施設の改修（国際競技連盟基準への適合）・ 事前合宿の誘致・実施 （ボランティア養成、警備、宿泊、輸送）	<ul style="list-style-type: none">・ パラリンピックの種目を知る・ パラリンピアンのお話を聞く、触れ合う・ パラリンピアンと一緒に競技を体験する・ バリアフリー、ユニバーサルデザインの大切さを学ぶ・ 2020年パラリンピック終了後日本代表選手を招く  <p>必要な経費を支援（例）</p> <ul style="list-style-type: none">・ パラリンピアンやスタッフの招へい・ パラリンピアン競技の体験イベントの開催・ 施設のバリアフリー化